

## 環境・安全への取り組み ～レスポンシブル・ケア～

～ ISO26000:環境 ～

### ▶ 基本的な考え方

保土谷化学グループは「環境保全と安全・健康と品質の確保は、経営の基盤であり、事業活動の基本である」を第一義にして事業活動を遂行しております。

「レスポンシブル・ケア規程」を定め、事業活動全般を評価し、化学物質の総合安全管理に関わる経営上の目標および施策を「RC基本理念」、「RC基本方針」として社会に公表し、「RC基本理念」、「RC基本方針」の重要性を、全従業員に対し教育・周知することによりしております。

### ▶ レスポンシブル・ケア(RC)について

レスポンシブル・ケア(RC)とは、「化学物質の製造や取り扱いに携わる企業が、その開発から廃棄に至る全サイクルにおいて、環境・安全・健康の対策を実行し改善を図っていく自主管理活動」です。

保土谷化学は1997年にJRCC(日本レスポンシブル・ケア協議会)に入会し、レスポンシブル・ケア実施宣言を行いRC基本理念、RC基本方針を制定しました。

RC基本方針は、健全な事業活動を遂行するために、RC基本理念に則り、環境・安全・健康・品質の確保を積極的に進めるとともに、常に継続的改善を図り、社会との共生に努めることを骨子としたものです。

以降毎年、このRC基本方針に基づいた年度方針を作成し、全従業員がRC活動を推進することにより、事業活動の基本となる環境・安全・健康・品質の向上に積極的に取り組んでおります。

#### 【レスポンシブル・ケア実施宣言】

保土谷化学は、環境の保護と人の安全・健康を確保するためここに「レスポンシブル・ケア(RC)基本理念」を定め、日常の事業活動を通して、レスポンシブル・ケア活動を実施することを宣言いたします。

1997.6.23



### ▶ レスポンシブル・ケア(RC)基本理念

1. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、経営の基盤であり、事業活動の基本である。
2. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、従業員一人ひとりが各々の立場で常に自覚と責任を持つことによって達成される。
3. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、社会の信頼を深め、従業員の幸福につながる。

### ▶ レスポンシブル・ケア(RC)基本方針

1. 従業員一人ひとりがRC基本理念に基づいて自覚と責任を持って行動する。
2. 事業活動にかかわる法令・規制及び会社が同意する地域社会・取引先の要求事項を遵守する。
3. 操業を安全に管理することにより、従業員と地域住民の安全・健康を確保する。
4. 高機能、高付加価値の製品・サービスを提供する。
5. 製品の開発・製造・輸送・使用・廃棄に至るまで環境に配慮し、汚染予防、環境負荷削減対策を実行することにより、環境の保全に努める。
6. 化学物質の安全性情報を収集し、提供・教育することにより、従業員・取引先・業者の安全と健康を確保する。
7. 行政当局、業界団体との連絡を密にし、環境・安全・健康・品質の確保に努める。



## ▶ RC実施体制

RC活動の実施にあたって社長の諮問機関としてCSR委員会の中にRC・QM分科会を設置しております。RC活動の実施担当役員は、環境・安全・品質保証部を総轄する執行役員です。

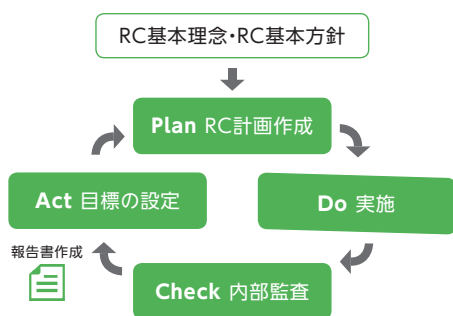
年4回定期的に開催される分科会では各課題の年度活動進捗の報告が行われます。年度末の分科会では、会社全体の活動総括および次年度のRC目標として「**全社RC/QM/ISO実施計画**」が審議・決定されます。次年度のRC目標は経営会議に諮られ、社長決裁を受け承認されます。各事業所は、「**全社RC/QM/ISO実施計画**」に基づき、「**事業所RC/QM/ISO実施計画**」を策定し、さらに職場計画までブレイクダウンされ、各職場の安全衛生推進員が主体となり活動を進めております。

## ▶ RC活動システム

RC活動の着実な実施に向け、全ての工場と研究所は、品質マネジメントシステム(QMS)のISO9001および環境マネジメントシステム(EMS)のISO14001を化学品・製品安全および環境保全の手法(ツール)として活用し、PDCAサイクルによる目標管理、継続的改善を行っております。

PDCAサイクルとは、年度のRC計画作成(Plan)→RC活動実施(Do)→RC内部監査による実施状況のチェック(Check)→実施状況を踏まえた目標の設定(Act)という一連の流れをいいます。これらは全てRC基本理念・RC基本方針に基づいて行われます。

RC内部監査はRC・QM分科会のリーダーおよびメンバーにより、年2回、4月と10月に実施し、マネジメントシステムの有効性を確認しております。



## ▶ RC教育

保土谷化学グループは、RC活動の理解と着実な推進のために、新入社員や職場が変わった者に対し、計画的にレスポンシブル・ケア7コード(マネジメントシステム、環境保全、保安防災、労働安全衛生、物流安全、化学品・製品安全、社会との対話)に加え、品質保証に関して教育を実施しています。

また、ISOマネジメントシステム内部監査員についても、養成研修を毎年定期的に行い、人材育成に努めております。

### 【レスポンシブル・ケア7コード】

- |              |  |
|--------------|--|
| ① マネジメントシステム | 6つの各活動をシステムとして統一的に運用する。                      |
| ② 環境保全       | 地球上の人々の健康と環境を守る。                             |
| ③ 保安防災       | 設備災害を防止し、万一火災が起こっても、その被害を最小限に食い止める。          |
| ④ 労働安全衛生     | 働く人々の安全と健康を守る。                               |
| ⑤ 物流安全       | 顧客に届けるまでの流通時の事故・災害を防止し、安全・健康・環境を守る。          |
| ⑥ 化学品・製品安全   | 化学品の性状・取扱方法を明確にし、顧客も含めた全ての利害関係者の安全・健康・環境を守る。 |
| ⑦ 社会との対話     | 一般社会の関心事に適切に対応する。                            |

レスポンシブル・ケア

## Voice



筑波研究所  
機能材料第1グループ  
島 大和

### 安全衛生推進員として

私は安全衛生推進員として、職場で取り組むさまざまな「環境・安全」に関する施策の年間計画書を作成し、その実施や進捗管理を担当しています。毎月開かれる機能材料グループの職場安全衛生会議では、上司・部下、先輩・後輩など年次に関係なく活発な議論が交わされ、さまざまな取り組みを通じて一人ひとりが安全についてより積極的に考えられる機運も高まってきました。

「社会からの信頼」や「社会との共生」に不可欠な「環境・安全」は、企業活動の根幹を支える重要なテーマです。従業員が一丸となって取り組むべきものであり、私も皆と協力して環境と安全に常に配慮しながら、自分に与えられた役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。